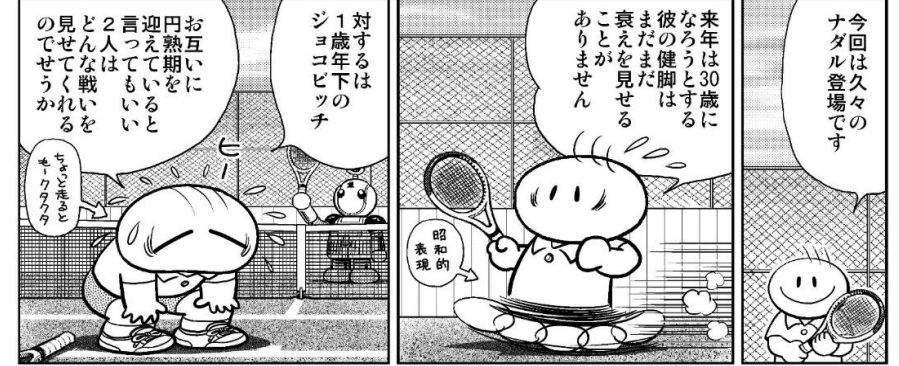
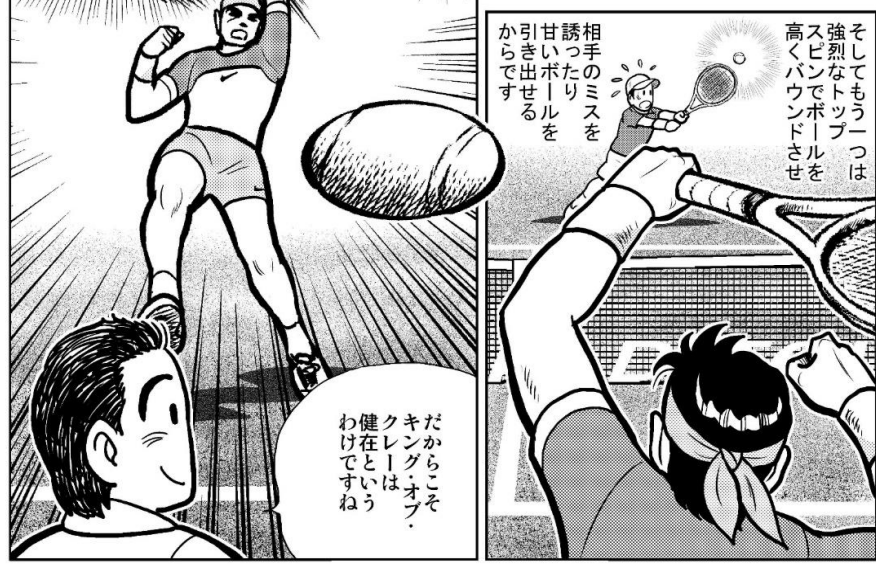


ジョコビッチの

# 打倒!レッドクレー王

《ミニブレーク163》  
キング

監修/辻野隆三(MIRAI TENNIS ACADEMY) 作画/石川正順



2015ATPツアー・マスターズ1000  
モンテカルロ大会  
男子シングルス準決勝戦

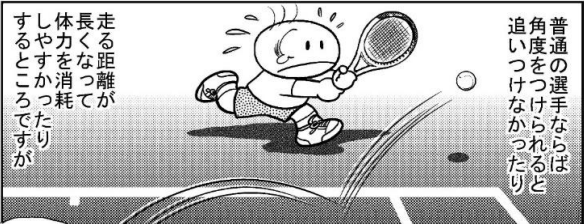
**ラファエル・ナダル**

1986年6月3日生まれの29歳  
身長185cm / 体重85kg  
スペイン・マヨルカ島出身  
対戦時のランキング5位

**ノバク・ジョコビッチ**

1987年5月22日生まれの28歳  
身長188cm / 体重80kg  
セルビア・ベオグラード出身  
対戦時のランキング1位

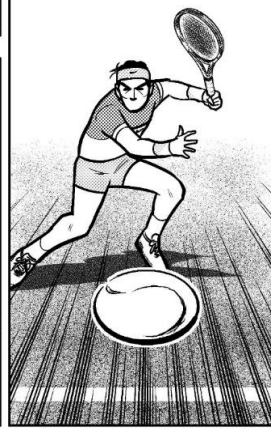
Point ②



走る距離が長くなると体力を消耗しやすかったりするので

普通の選手ならば角度をつけられると追いつけなかったり

ナダルはベースライニングをすく後ろにとります



ナダルは強靭な体力と足の速さでどんなボールでも返球してしまふのです

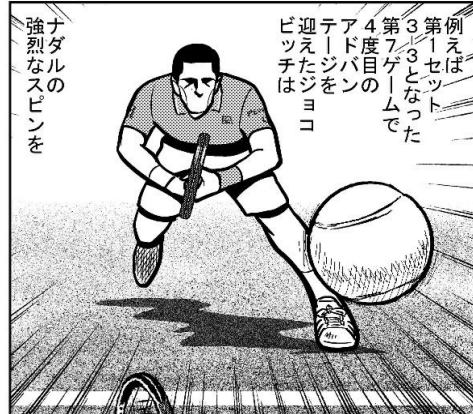


王者たるゆえんですねい

Point ①

まずジョコビッチは跳ねてくるボールに対し

高い打点から叩き込みフレッシヤーをかけるといいう方法をとりました



ナダルの強烈なスピンを

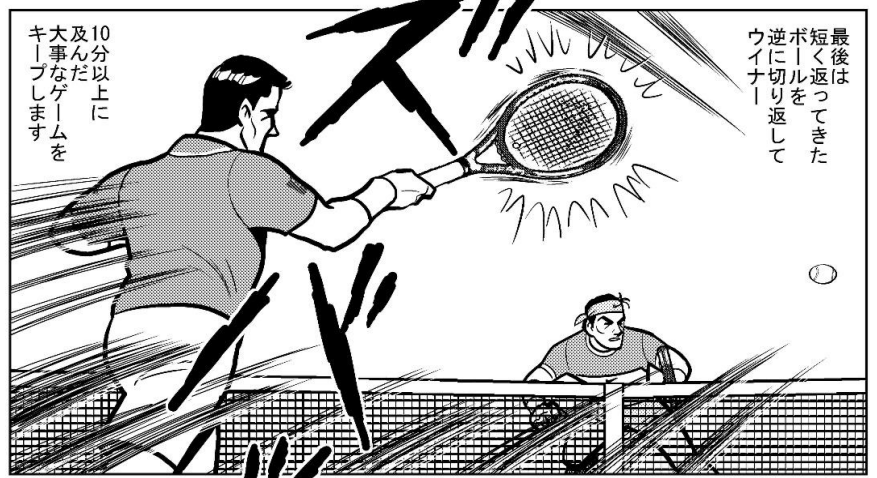
例えば第1セット33となった第7ゲームで4度目のアドバンテージを迎えたジョコビッチは



フォア

バック

どちらでも高い打点で叩いて左右に振り

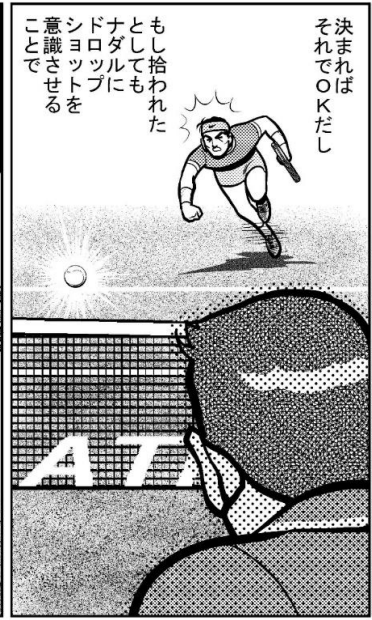


最後はボールを逆に切り返してウイナー

10分以上に及んだ大事なゲームをキープします



ポジションを上げさせ得意のフットワークをうまく使えなくすれば結局ナダルの守備範囲を狭められるという狙いです



もし拾われたとしてもナダルにドロップショットを意図させることで

決めればそれでOKだし



そこでジョコビッチはドロップショットを多用しました

Point ③

